

札幌 市民防災

第11号

平成26年10月31日
札幌市民防災団体連合会

発行責任者 田畑 隆二

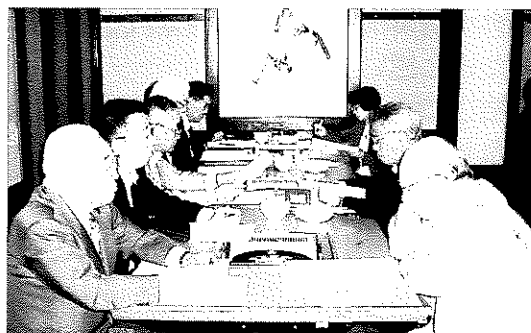
平成26年度 札幌市民防災団体連合会 定期総会開催

平成26年5月23日(金)午後3時より、今回は会場の都合でキリンビール本館において、会員団体代表者のほか、ご来賓として札幌市から危機管理対策室の小笠原倫生部長をはじめ多くの関係者の皆様にご出席を戴き、平成26年度定期総会が開催されました。

岡部会長の挨拶に引き続き、ご来賓の小笠原部長からご祝辞を戴き、議長選出後「平成25年度事業・決算・会計監査報告」があり、質疑応答のあと「平成26年度事業計画および予算案」が審議されそれぞれ承認されました。

本総会では『受賞団体以外の団体や個人の加入を認めては…』『会費の納入率…』など活発な質疑が交わされ、事務局側から「昨年度は情報提供と組織拡大に向けて広報部を新設し、また、会費納入の際に払込料不要の郵便振替用紙を利用する等の利便性を図った」今年度も、貴重なご意見を検討しつつ改善を図っていく旨の答弁がありました。

最後に、議案第7号「役員改選(案)」で、現会長の岡部隆昭氏からの辞意と、後任会長として現副会長の田畑隆二氏の選任について承認され、両氏からご挨拶を戴き、平成26年度定期総会が無事閉会しました。



退任ごあいさつ

岡部 隆昭

総会が終了して5ヶ月が過ぎました。その間日本各地で、大きな自然災害が続いております。広島市の土砂災害、御嶽山の噴火による多くの登山者の死亡など、又札幌に於いても集中豪雨による避難勧告が出されました。私が住んでいる、厚別区青葉町もテレビのテロップは何回も流れ、それに伴い、早朝より各地から電話がかかって参りました。その時に感じた事は、もう少し細かい指示があればと言う事です。(例えば青葉町小野幌川流域の地区と言う様に)。又勧告に従って避難所に行った所、鍵がかかって中に入れず、あの雨の中で、次の避難所を子供をつれてさがしている姿をテレビで見ると、今後の防災に対する反省点が多かった様に思い、今後防災団体連合会に期待するものが極めて大きいと思いを新たにしております。

今後会員皆様の一層の御指導を期待して退任の挨拶と致します。



総会の開催にあたって

札幌市危機管理対策室 危機管理対策部長 **小笠原 倫生**

皆様におかれましては、日頃より札幌市防災行政へのご理解とご協力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げますとともに、自主防災活動をはじめ、地域のまちづくり活動に率先して取り組んでいただいておりますことに、心より敬意を表するところでございます。

皆様ご承知のとおり、近年、全国各地で台風や集中豪雨などによる洪水や土砂災害が発生しておりますが、本市におきましても、ここ数年、局地的な大雨が観測されるなど、災害がいつ発生してもおかしくない状況でございます。これらの災害を防止し、被害を最小限に軽減するには、私ども行政の時機を逸しない防災情報の発信などに加え、地域の皆様の自主防災組織を核とした自主的な防災活動の実践が何よりも重要となっております。また、未曾有の被害をもたらしました東日本大震災におきましては、津波や原子力災害により、地域のコミュニティが壊滅的な打撃を受け、「災害に備え」、「防災対策の重要性」が改めて強く認識されたところですが、地震などの大災害が発生した場合、私ども行政は総力を挙げて防災活動にあたることは言うまでもありませんが、市内の至る所で火災や建物の損壊が多発し、道路、水道、電気等のライフラインに支障が生じれば、行政の力だけで全てに対応することは事実上困難となります。このような場合には、地域の皆様が自らの手で初期消火や倒壊家屋に取り残されている方の救助、負傷者の手当てなどを行っていただき、少しでも被害を食い止めていただかなければなりません。また、その後の避難所においても、皆様が協力しながら主体的に運営していただくこととなりますが、その際に大きな力を発揮するための柱となるのは、「自助」、「共助」、「公助」の中の「共助」、まさに皆様が日頃取り組んでおられる地域の自主防災活動となりますので、皆様にはぜひ、地域に根付いた自主防災活動を推し進めていただきたいと思っております。

結びになりますが、札幌市民防災団体連合会の更なるご発展と、ご出席の皆様のご健勝をご祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



新会長ごあいさつ

札幌市民防災団体連合会 会長 **田畑 隆二**

平成26年度の総会が、札幌市危機管理対策部長の小笠原様のご出席をいただき、終了をさせていただきました。

今年度の総会で岡部隆昭会長に代わりまして会長に就任致しました田畑でございます。宜しくお願ひ申し上げますと共に、前会長の岡部様には、長年にわたり当会の運営を頂き誠に有り難うございました。

さて、当会会員皆様におかれましては、日頃から地域防災に積極的に取り組まれていると思っております。

最近は特に世界的な異常気象による集中豪雨被害が多く発生し、多く犠牲者が出ております。国内でも大型台風による土砂災害が多発し風水害の恐ろしさを改めて感じている所でございます。

この状況を踏まえ、当会も今年は会員皆様に改めて災害防止（地震・風水害の減災）に向けての活動（講演会開催、情報提供）等を進めて行きたいと思っております。

又、昨年から広報部（渡辺部長）を新設し各地域の防災活動の情報収集や紹介を積極的に進めています。会員皆様の情報提供（防災活動の取り組み）のご協力をお願い申し上げます。

今年度も会員の皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げ、各位のご健勝を祈念いたしまして、ごあいさつとさせていただきます。

平成26年度 札幌市総合防災訓練開催

9月1日の「防災の日」を中心に、各地区で防災訓練が行われましたが、今年度札幌市主催の総合防災訓練は、豊平区の札幌大学を主会場に実施されました。

広島市や宗谷管内札文町で多数の死傷者を出す土砂災害が発生して間もないだけに、消防、町内会、札幌大学、中・高生、インターナショナルスクールの生徒など、約1,300人が参加して訓練が実施されました。

ヘリコプターやはしご車を使った救助訓練や、バケツリレーによる初期消火訓練などを実践、特に都市型水害に備えての土のうを積む訓練も体験しました。また、札幌大学の中央棟では中に取り残された人がいるとの想定で、消防局のヘリやはしご車が救助に当たり、高層階に向けての放水、住民の避難誘導や、医師等による負傷者の治療優先順位をきめる「トリアージ」も行われました。いつ来るか判らない災害にむけての訓練は常に繰り返し行うことが必要です。



上田市長挨拶

【訓練終了後の上田市長の講評】

訓練をして頂いております各専門機関、警察、自衛隊、ライフライン企業、医療関係の皆様のご協力により、15項目に及ぶ訓練と展示を実施した、豊平区の町内会、教育機関にお礼を申し上げます。

土砂崩れ、土石流の災害では、市民が気づく、そして行政が避難勧告等を発表する、それを受けて市民の皆様が粛々と行動し被害を最小限に食い止める、そのような意思をしっかりと持つことが出来るまちを創っていきたく願っています。

この訓練を取材して、「自助」「共助」「公助」それぞれの立場で、しっかりと自覚することの大切さを痛感しました。



学生によるバケツリレー訓練

消防団員による土のうを積む訓練



災害用伝言ダイヤル

171

「171」をダイヤルし、利用ガイダンスに従って伝言の録音・再生を行ってください。

自主防災への取り組み

手稲曙第4町内会 副会長 三谷 典之

当町内会では、従前より消火訓練・避難訓練などを通じて、会員への防災意識の啓蒙に努めてきていましたが、平成26年度新役員体制となり、更なる防災・減災につなげるよう事業に見直しを行いました。新たな取り組みとして、「HUG」・「DIG」を防災委員が受講し、その後、会員も受講する機会を設けたこと。また、防災規約を、より実際に沿ったものに見直すとともに、防災計画を立案し、更に、避難所での対応マニュアルを策定し、これらを全戸に配布し周知の徹底に努める予定となっております。なお、防災への関心を身近なものとして捉える観点から、町内の「街歩き」を実施して、危険個所の把握や日頃何気なく通り過ぎていた場所を点検することにも取り組んでいるところです。平常時の備えが、いざ災害となった時に役立つよう役員一同知恵を出し合っただけでなく、会員への啓蒙に、より以上努めていきたいと話し合っているところです。



収容避難所の管理・運営について

月寒東地域安全連絡協議会 会長 高田 和志

本会は、平成18年7月29日に月寒東地域16町内会の防災組織『月寒防災3の2地区収容避難所運営委員会』として設立し、現在では『月寒東地域安全連絡協議会』として地域子ども会活動や福祉・防犯活動に精進しています。

本会活動のスタートは、防災組織の整備ですが、管理情報班・救護班・食料物資班の活動内容について、月一回の役員会議で「各班帳票類」「病院搬送先リスト」「管理運営備品リスト」「3日分炊き出しレシピ・材料一覧表」「感染症対策等避難所運営マニュアル」などの整備を進め、活動資金は豊平区街づくり団体助成金や自己資金（地域合同盆踊り引継ぎ金）など70万円を元手に収容避難所運営備品として道新福祉振興基金より50万円で煮炊きレンジを、豊平区コミュニティ助成金30万円でダンボール製パネルと防災敷きマットを自治総合センター助成金百万円で発電機・ステンレス携行缶・サークルライトなどを4年間で整備した。



編 集 後 記

今年は日本各地で災害が発生し、多くの方々が犠牲に成り今だに見つかっておりません。一日も早く見つかってほしいと思います。

広報部では皆様方からの日頃の活動を多くの方へ発信し、安心して住める街になるよう情報をお待ちしておりますのでご一報下さい。

広報部長 渡 辺 恵美子 電話 011-851-9583番

印刷所 北晃社 斎加印刷所
札幌市西区八軒1条東5丁目
電話 011(631)1271